

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

# 帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

## ～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 40 令和8年3月13日 発行

校長 黒島 俊一

## かさかしげから考えること

日本の風習で、「かさかしげ」というものがあります。

雨の日にかさをさして狭い道を行きかう際に、自分のかさから滴るしずくが相手にかからないように、かさがぶつからないようにと互いが相手を思いやり、かさを互いに少し反対側に傾けてすれ違う、あれのことです。見たことがあると思いますし、経験をしたこともあるでしょう。

似たような仕草で、「肩引き」があります。

これは向こうから人が歩いてきて、すれ違う時に互いの肩を反対側に引いて、肩がぶつからないよう気を遣うというそれです。このような素晴らしい風習が日本にはあります。向こうから来る人と同じ方向に何度も避け合ってしまう、なんていう経験もあるのではないのでしょうか。

こうした素敵な風習は、日本人の心の潤いともいえるものを感じます。

先日所用で東京に行ったときのこと。絶対的に人の数が多く、人が行きかい、人の波におぼれそうになりながら感じたことは、「歩きスマホ」こそ少なくなったものの、みんな急いで前に進むことに夢中になってぶつかりそうになる場面が結構多いことです。またワイヤレスのイヤホンが耳に入っている方が多いことも感じました。

「自転車スマホ」も道路交通法で12000円の罰則が課せられることになり、さすがにその実態は少なくなったようですが、実際にはどうなのでしょう。自転車にぶつかりそうになっても知らん顔して行ってしまったり、本当に事故になってしまったりすることは、全国的な発生状況としては、まだまだ珍しいことではなさそうです。

1年間、毎朝登校中の子供たちの見守り活動をしてきました。現在最後の担当学年である4年生の保護者のみなさんに見守りご協力をいただき、3月19日に今年度最終日を迎えます。1年間のご協力に感謝申し上げます。このごろは春の足音が近づいてきて、一気に雪解けが進む一方で、厳寒期に比べ、車のスピードが「出気味」なことを感じます。登校時、気がせいて、歩行者信号が青になったとたんに道路に飛び出す子供たちも中にはいます。帯広小学校の校区はご承知のとおり、市の中心部を抱え、また幹線道路がクロスする大変交通量の多い校区です。毎日の登下校のみならず、徒歩での移動や4月からは自転車に乗る子供たちも出てくることでしょう。どうかお子さんが出かけるときは「気をつけて、行ってらっしゃい」の声掛けとともに、親からもらった大切な自分の命は自分で守る意識を、今一度高めていってほしいと思うのです。

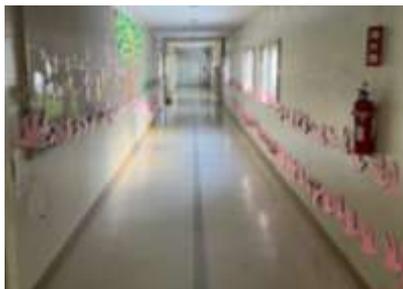
## 卒業式・進級に向けてのムードが高まつつ

卒業式24日の登校まであと5日間の登校日となりました。過日、5年生が中心となって企画した、全校での「さよなら集会」は、きめ細やかな段取りと趣向を凝らした工夫で楽しい集まりとなり、卒業を祝うムードで盛り上がりました。同時に5年生が最高学年になる意識の高まりも感じさせるものでもありました。

学校全体が、学年の締めくくりの取組とともに、卒業式に向け各学年に分担された卒業式会場や廊下の装飾の準備も進められています。そんな毎日から、1年の締めくくりと進級の喜びにあふれる子供たちの表情や教室の空気を感じます。

進級・進学する日の1日前と1日後で劇的に何かが変わるものではないのですが、「3月の終わりまで頑張ろう！今の学年が

終わった、頑張ったな自分！よしまだ頑張るぞ！」など、準備作業等の中で、少なくとも子供自身の中で徐々に決意を固め、気持ちを新たに、徐々に意識が高まっていくものと思います。どうか我が子を見守り、自然なかかわりの中での1年の振り返りと、次の学年への希望や楽しみで家族の会話を深められることを願うのです。



卒業式の装飾づくりから。「伝統の鳩」が帯広小学校の体育館の頭上に舞うのです。



卒業前の6年生、家庭科の学習の一環で校舎のガラス拭き作業から。みんなでわいわい、楽しくピカピカに。ボランティアで安井さん、棚瀬さんのお母さんも駆けつけて下さいました。ありがとうございます。



# 新しい学校教育目標の設定へ向けて①

夢を持ち みんなで高め合い 未来をひらく 帯小っ子

(令和8年4月1日改定 案)

## 目指す子供の姿に向けた6つの柱(重点)

お	おおきな心で	(徳)
び	びしっと学び	(知)
ひろ	ひろがる仲間と	(和・地域)
し	しっかり行う	(体・徳)
よ	よい子の笑顔あふれる	(個・家庭)
う	うきうき帯広小	(環境)

20年以上前に制定された本校の学校教育目標は教育目標の存在こそ、子供たちをはじめみなさんの認識はあっても、ただのお飾りになってしまったり、聞かれても答えられなかったりするケースも珍しくなく、指標としてもその役割を担うことができない現状がみられます。これは本校だけのことでないかもしれませんが。

この間、保護者、教職員、児童のアンケートなどをもとに、それぞれの願いと思いをふまえた原案を学校で作成し、過日学校運営協議会(コミュニティスクール協議会)での熟議を経て、このたび、保護者のみなさんにお示しするものです。

子供たちが覚えやすく、理解できる、みんなで意識できるものとして、時代にあわせた目標の一元化・整理、学校が一つの目標に向かってつながりながら、学びがい、通わせがい、働きがいのある学校づくりに向け意識を高めていくよりどころとなるものが、新・学校教育目標であると考えます(続く)

## 第3回学校運営協議会(コミュニティスクール)から



今年度3回目の学校運営協議会(コミュニティスクール運営協議会通称CS)が3月2日に開催されました。

今回は今年度初めての夜の開催で、熟議を中心とした会議となりました。3学期の総合的な教育活動の報告ののち、学校通信No.35でお示した学校評価の結果と考察、今後に向けての展望や、「カラココ」の運用状況の説明、体験等を行いました。

「カラココ」をはじめ、不登校傾向等の支援体制の構築、学校評価等からは、読書習慣の定着傾向について、それぞれ高評価をいただきました。

また、新・学校教育目標の原案については、前回会議で「シンプルでコンパクト、わかりやすく、言いやすいものにする」と、などの要望をふまえた形として、どれも省けない大切な視点が盛り込まれているという声も寄せられました。

今年度も、CSのみなさんには、帯広小学校のために活発な協議と取組、また教育活動へ多大なる協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

令和8年度は開校130周年の記念の年になります。引き続きの学校支援をよろしくお願ひします。

## 令和7年度帯広小学校 コミュニティスクール(CS)運営協議会

- 委員長 松本奈津子 氏(元本校PTA会長)
- 副委員長 戸澤美沙希 氏(現本校PTA副会長・新)
- Co. 畠山香穂里 氏(元本校PTA 各種ボランティア代表)
- Co. 本間 諭美 氏(元本校PTA役員)
- 委員 佐藤 悦弘 氏(元本校PTA 救命救急士)
- 委員 小川 真弓 氏(児童保育センター主任指導員)
- 委員 豊田美恵子 氏(大乘寺 地域住民)
- 委員 大玉 泰規 氏(元本校PTA副会長 ミドリ写真館)
- 委員 大島 健 氏(元広陽小校長 地域住民・新)
- 委員 黒島 俊一 (現帯広小校長)

※ 以上委員一覧 新は新規 Co.はコーディネーターの略



<公益財団法人 日本英語検定協会>  
2025年度第2回実用英語技能検定 4級合格  
6年 高橋 きのさん 高橋あさひさん 荒井 彩瑚さん  
あさひさんは3級受験中とのこと。帯広小からの国際化。



<帯広スケート連盟  
第2回スケートフェスティバル>  
小学校3,4年100M男女  
28秒36 4年有川 綺奈さん  
タイムが着実に向上中!

帯広小の  
今日のきらきらさん

